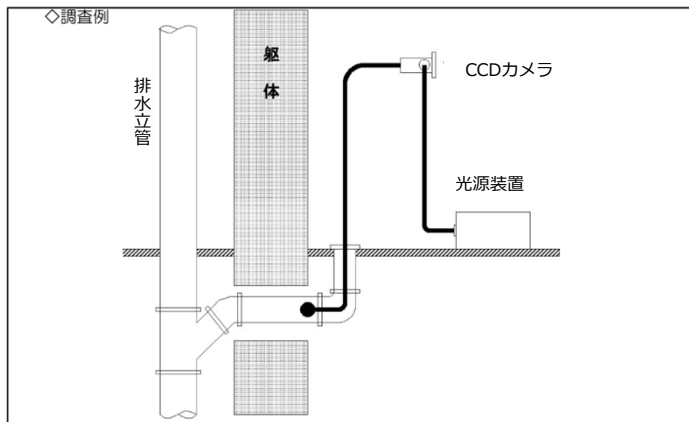


◆ 配管事前調査詳細

(1) 内視鏡調査

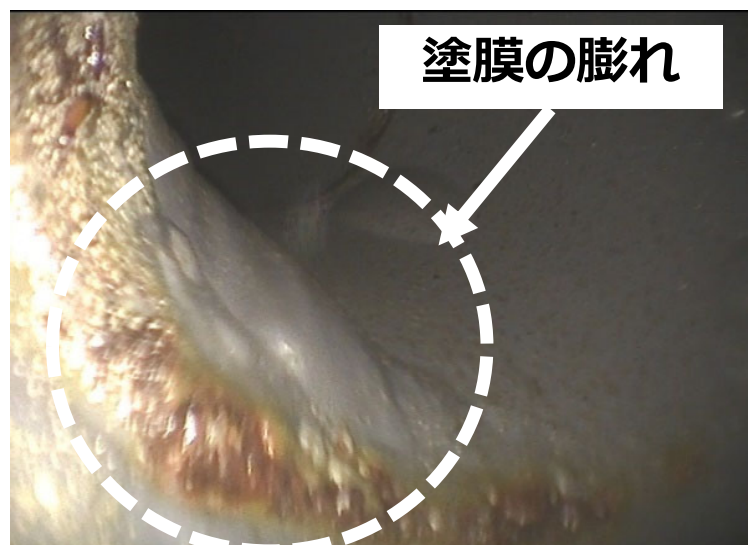
管内撮影用のCCDカメラを配管の開口部より挿入し、管内面の状況を観察・撮影を行う。写真や映像により、実態の状況を把握する。



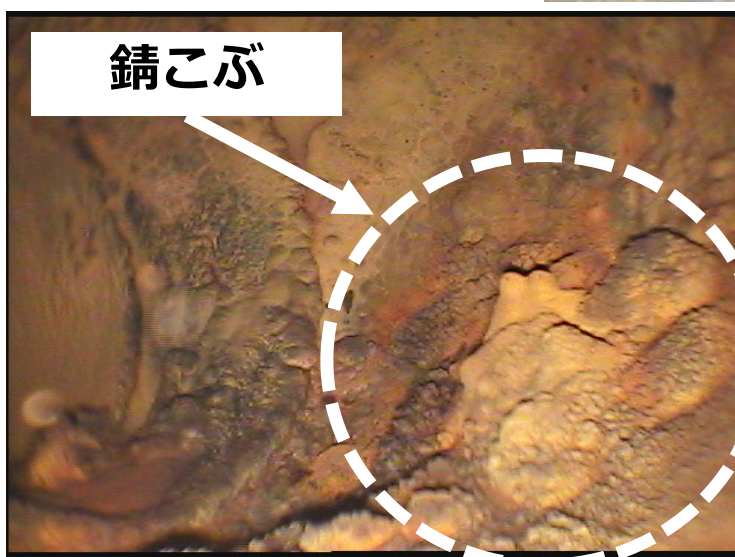
■ 作業手順



排水管（樹脂ライニング管）

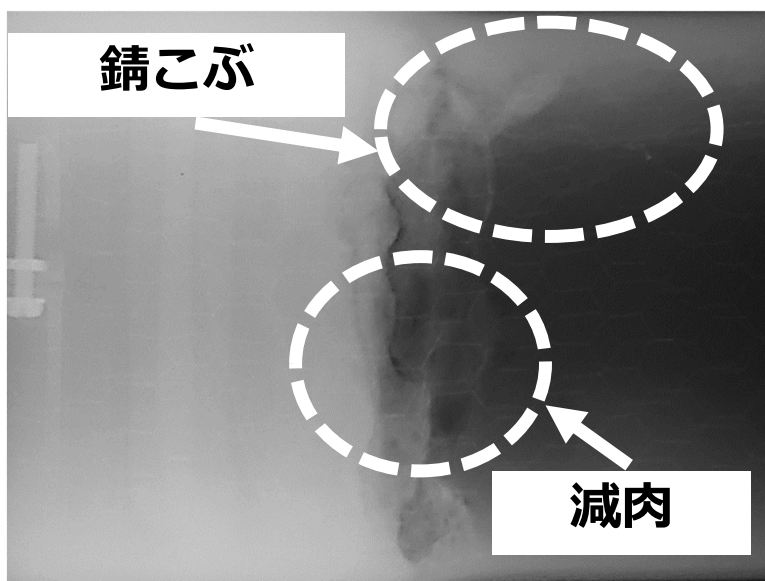
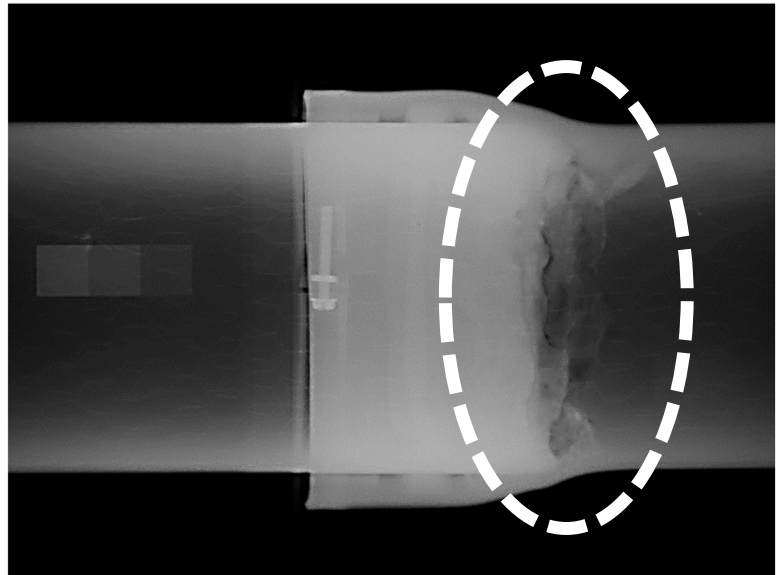
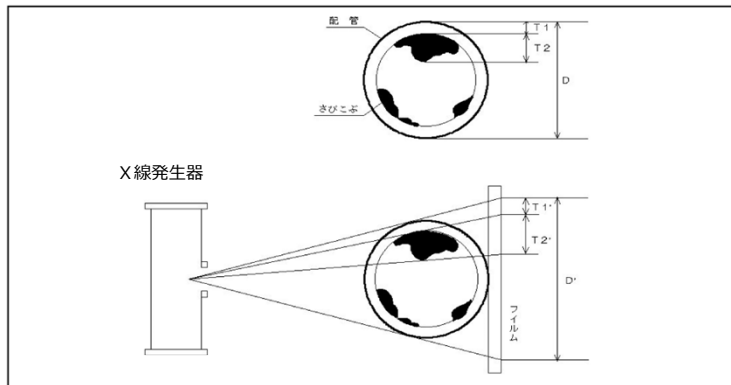


排水管（樹脂ライニング管）



(2) X線調査

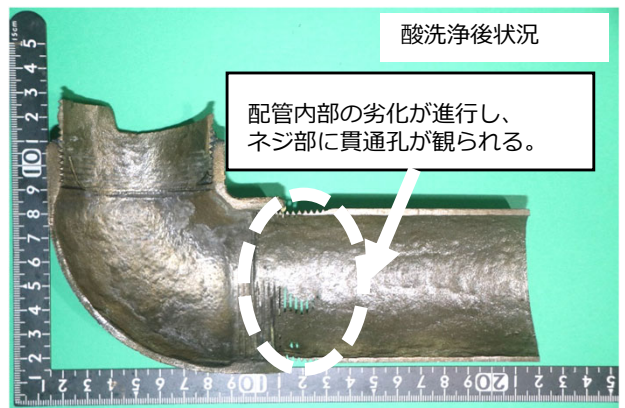
配管にX線を照射し、透過したX線の強度変化を、フィルムの白黒濃淡影像から、配管の肉厚の減少や錆こぶの状況を観察する。



(3) 配管採取調査

配管を採取し、酸洗浄により腐食生成物を除去後、ポイントマイクロメータで配管肉厚を測定する。

■診断工程



◆ 設備劣化診断事例（目視調査）

竣工後37年経過 事務所ビル（東京都内）



地下1階 ポンプ室 揚水ポンプ

全体的に発錆箇所が見受けられる。軸受け部分での腐食が著しい。



屋上 冷却水ポンプ廻り配管

ラッキング破損・変形し、防水・保温性能が低下している。ラッキング補修及び配管の外面腐食の状況によって配管外面のケレン・塗装が必要。



屋上 高架水槽

天板・マンホール部分でFRP樹脂の劣化と汚れが認められる。



屋上 冷却水ポンプ

ボルト、及び配管部分に発錆が認められる。



屋上 冷却水ポンプ廻り配管

ラッキング破損・変形し、防水・保温性能が低下している。ラッキング補修及び配管の外面腐食の状況によって配管外面のケレン・塗装が必要。



屋上 ルーフドレン目皿

泥が目皿に詰まり、雨水が滞留している。清掃が必要。